



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月8日
東証グロース市場

上場会社名 ユナイテッド株式会社 上場取引所
コード番号 2497 URL <https://united.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)早川 与規
問合せ先責任者 (役職名)取締役 経営管理本部長 (氏名)山下 優司 (TEL) 03(6821)0000
四半期報告書提出予定日 2023年2月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	10,175	△5.7	4,933	△12.1	4,948	△11.9	3,591	△7.3
2022年3月期第3四半期	10,786	—	5,612	—	5,619	—	3,875	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △1,157百万円(—%) 2022年3月期第3四半期 3,200百万円(△65.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	180.93	180.86
2022年3月期第3四半期	181.45	181.31

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29条 2020年3月31日)等を2022年3月期の期首から適用しております。売上高及び利益に大きな影響が生じるため、2022年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	33,481	27,371	81.1
2022年3月期	38,701	30,288	77.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 27,143百万円 2022年3月期 30,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	17.00	—	20.00	37.00
2023年3月期	—	20.00	—		
2023年3月期(予想)				—	—

(注) 2023年3月期における配当予想額は、現時点で未定であります。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	0.7	5,800	1.1	5,800	0.7	4,200	9.8	208.00

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	20,756,345株	2022年3月期	20,756,345株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,217,899株	2022年3月期	587,199株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	19,851,442株	2022年3月期3Q	21,358,613株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、2023年2月8日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明動画を配信する予定です。動画中で使用する資料等については、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響による経済活動の制限が緩和されるなど回復の兆しをみせた一方、ロシアによるウクライナ侵攻やエネルギー価格の高騰に伴う世界的なインフレの加速や、急激な為替の変動により、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループは、2023年3月期より「意志の力を最大化し、社会の善進を加速する。」というパーパスを制定しました。今後は、パーパスに基づき、DXプラットフォーム事業内の「教育事業」、「人材マッチング事業」、及び「投資事業」を今後の成長をけん引するコア事業として設定いたしました。コア事業間での連携を強化し、シナジーを創出することで、独自性のある強みを築き、企業価値の最大化を目指してまいります。

具体的なコア事業間の取り組みとして、教育事業でデジタル人材を育成し、人材マッチング事業において、育成したデジタル人材と投資事業における投資先スタートアップのマッチングを行うことで、投資先のバリューアップを図ってまいりました。

また、㈱ココドル、イノブ㈱及びカソーク㈱の連結子会社化により、人材マッチング事業のポートフォリオ及び提供価値の拡大を行いました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は10,175,064千円(前年同期比5.7%減)となり、営業利益は4,933,293千円(前年同期比12.1%減)、経常利益は4,948,838千円(前年同期比11.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,591,671千円(前年同期比7.3%減)となりました。

① DXプラットフォーム事業

DXプラットフォーム事業は、オンラインプログラミング教育事業を運営するキラメックス㈱、アプリ・システム開発事業を運営する㈱ブリュアス、デザイナー特化型クラウドソーシングサービスを運営する㈱リベイス、複業人材サービスを運営する㈱ココドル、採用支援事業等を運営するイノブ㈱、副業・転職マッチングプラットフォームを運営するカソーク㈱及びユナイテッド㈱のDXコンサルティング事業等により構成されております。

当第3四半期連結累計期間は、キラメックス㈱が運営するオンラインプログラミング教育事業『テックアカデミー』の受講者数減少の影響により、売上高は1,658,795千円(前年同期比0.7%減)となりました。一方、キラメックス㈱で広告費を抑制したことにより、セグメント損失は211,309千円(前年同期はセグメント損失382,947千円)となりました。

② インベストメント事業

インベストメント事業は、シード/アーリーステージを中心としたスタートアップ企業への投資を行っております。当第3四半期連結累計期間は、投資先の営業投資有価証券の売却等を行ったものの、前第3四半期連結累計期間における売却量を下回ったこと等の影響により、売上高は5,630,391千円(前年同期比10.3%減)、セグメント利益は5,358,738千円(前年同期比10.3%減)となりました。

③ アドテクノロジー事業

アドテクノロジー事業は、ウェブ広告領域において、SSP『adstir』、DSP『Bypass』、アドネットワーク『HaiNa』を提供するユナイテッドマーケティングテクノロジーズ㈱により構成されています。

当第3四半期連結累計期間は、特定業種での出稿量増加に伴い、売上高は791,582千円(前年同期比9.5%増)、セグメント利益は421,617千円(前年同期比12.1%増)となりました。

④ コンテンツ事業

コンテンツ事業は、スマートフォン向けアプリやウェブサイトを通じた様々なサービスを提供しており、フロッグ㈱、㈱インターナショナルスポーツマーケティング、トレイス㈱及びプラスユー㈱により構成されています。

当第3四半期連結累計期間は、『クラッシュフィーバー』の共同運営権持分の譲渡及びフロッグ㈱における販促費拡大等の影響により、売上高は2,098,759千円(前年同期比1.1%減)、セグメント利益は2,242千円(前年同期比99.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ5,219,573千円減少し、33,481,482千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・現金及び預金は、投資先株式の売却等により、前連結会計年度末に比べ544,578千円増加しております。
- ・営業投資有価証券は、投資先株式の時価評価等により、前連結会計年度末に比べ5,480,061千円減少しております。
- ・デリバティブ債権は、投資先株式の時価評価及び期間満了によるデリバティブ契約の一部終了により、前連結会計年度末に比べ流動資産は268,499千円増加し、投資その他の資産は1,198,343千円減少しております。
- ・のれんは、(株)ココドル及びイノープ(株)の株式取得並びにカソーク(株)の事業譲受等により、前連結会計年度末に比べ635,526千円増加しております。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,302,441千円減少し、6,110,089千円となりました。

主な増減理由は、投資先株式の時価評価等により、繰延税金負債が前連結会計年度末に比べ2,086,331千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,917,132千円減少し、27,371,392千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・利益剰余金は、主に次の要因により、前連結会計年度末に比べ2,795,410千円増加しております。
 - ・親会社株主に帰属する四半期純利益3,591,671千円の計上
 - ・剰余金の配当による796,260千円減少
- ・自己株式は、取得等により前連結会計年度末に比べ965,180千円増加しております。
- ・その他有価証券評価差額金は、投資先株式の時価評価等により、前連結会計年度末に比べ4,104,093千円減少しております。
- ・繰延ヘッジ損益は、投資先株式の時価評価等により、前連結会計年度末に比べ645,126千円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想は、2022年3月期通期決算短信で公表した数値から変更ありません。詳細は2022年5月11日に発表しました「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご覧ください。

2023年3月期通期連結業績予想(2022年4月～2023年3月)

売上高	12,800百万円(前連結会計年度比 0.7%増)
営業利益	5,800百万円(前連結会計年度比 1.1%増)
経常利益	5,800百万円(前連結会計年度比 0.7%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	4,200百万円(前連結会計年度比 9.8%増)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,165,526	12,710,104
受取手形及び売掛金	1,347,244	998,527
営業投資有価証券	18,789,981	13,309,919
棚卸資産	69,727	70,747
デリバティブ債権	1,471,624	1,740,123
その他	340,835	293,108
貸倒引当金	△5,411	△4,911
流動資産合計	34,179,529	29,117,620
固定資産		
有形固定資産	292,599	326,444
無形固定資産		
のれん	327,664	963,191
その他	234,613	287,982
無形固定資産合計	562,278	1,251,173
投資その他の資産		
デリバティブ債権	3,088,403	1,890,059
その他	578,244	896,183
投資その他の資産合計	3,666,648	2,786,243
固定資産合計	4,521,526	4,363,861
資産合計	38,701,056	33,481,482
負債の部		
流動負債		
買掛金	879,338	843,513
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	69,178	55,910
未払法人税等	1,103,564	869,969
その他	660,077	737,082
流動負債合計	2,812,158	2,606,475
固定負債		
長期借入金	75,766	65,340
繰延税金負債	5,524,606	3,438,274
固定負債合計	5,600,372	3,503,614
負債合計	8,412,531	6,110,089

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,923,019	2,923,019
資本剰余金	379,270	377,844
利益剰余金	14,979,955	17,775,365
自己株式	△983,344	△1,948,524
株主資本合計	17,298,901	19,127,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,601,720	5,497,626
繰延ヘッジ損益	3,163,747	2,518,621
その他の包括利益累計額合計	12,765,468	8,016,248
新株予約権	224,154	225,438
非支配株主持分	-	2,000
純資産合計	30,288,524	27,371,392
負債純資産合計	38,701,056	33,481,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	10,786,850	10,175,064
売上原価	3,260,081	3,144,859
売上総利益	7,526,769	7,030,205
販売費及び一般管理費	1,913,863	2,096,911
営業利益	5,612,906	4,933,293
営業外収益		
受取利息及び配当金	75	63
持分法による投資利益	9,600	19,689
未払配当金除斥益	2,245	3,252
その他	772	7,531
営業外収益合計	12,695	30,537
営業外費用		
支払利息	1,681	1,554
支払手数料	200	1,589
為替差損	298	203
暗号資産評価損	1,722	6,932
譲渡制限付株式関連費用	-	3,646
その他	2,217	1,065
営業外費用合計	6,120	14,992
経常利益	5,619,480	4,948,838
特別利益		
権利譲渡収入	-	350,000
その他	-	9,522
特別利益合計	-	359,522
特別損失		
固定資産除却損	-	2,674
事務所移転費用	-	1,320
特別損失合計	-	3,994
税金等調整前四半期純利益	5,619,480	5,304,366
法人税、住民税及び事業税	1,820,761	1,711,897
法人税等調整額	△76,802	798
法人税等合計	1,743,958	1,712,695
四半期純利益	3,875,521	3,591,671
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,875,521	3,591,671

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	3,875,521	3,591,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△948,346	△4,104,093
繰延ヘッジ損益	275,250	△645,126
為替換算調整勘定	114	-
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,969	-
その他の包括利益合計	△674,951	△4,749,220
四半期包括利益	3,200,570	△1,157,549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,200,570	△1,157,549

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月11日及び2022年11月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式648千株を取得しました。また、2022年6月16日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式21千株を処分しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が965,180千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式が1,948,524千円となっております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	DXプラットフォーム事業	インベストメント事業	アドテクノロジー事業	コンテンツ事業			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	1,668,842	—	722,780	2,119,400	4,511,023	—	4,511,023
その他の収益	—	6,275,827	—	—	6,275,827	—	6,275,827
外部顧客への売上高	1,668,842	6,275,827	722,780	2,119,400	10,786,850	—	10,786,850
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,567	—	90	1,750	3,407	△3,407	—
計	1,670,410	6,275,827	722,870	2,121,150	10,790,258	△3,407	10,786,850
セグメント利益又は損失(△)	△382,947	5,976,020	376,083	334,029	6,303,186	△690,279	5,612,906

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△690,279千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれんに関する情報

「DXプラットフォーム事業」において、第1四半期連結会計期間に㈱リベイス、第2四半期連結会計期間に㈱イケてるやつらの株式を取得し子会社化したことにより、連結の範囲に含めております。

これらに伴うのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において346,939千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	DXプラットフォーム事業	インベストメント事業	アドテクノロジー事業	コンテンツ事業			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	1,655,945	—	791,582	2,097,144	4,544,673	—	4,544,673
その他の収益	—	5,630,391	—	—	5,630,391	—	5,630,391
外部顧客への売上高	1,655,945	5,630,391	791,582	2,097,144	10,175,064	—	10,175,064
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,849	—	—	1,614	4,464	△4,464	—
計	1,658,795	5,630,391	791,582	2,098,759	10,179,529	△4,464	10,175,064
セグメント利益又は損失(△)	△211,309	5,358,738	421,617	2,242	5,571,289	△637,995	4,933,293

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△637,995千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれんに関する情報

「DXプラットフォーム事業」において、第2四半期連結会計期間に㈱ココドル及びイノープ㈱の株式を取得し子会社化し、連結の範囲に含めております。また、当第3四半期連結会計期間に新規設立したカソーク㈱が事業譲受を行っております。

これらに伴うのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において693,349千円であります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合(連結子会社による事業譲受)

当社は、2022年11月29日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるカソーク㈱が、副業・転職マッチングプラットフォーム『Kasooku』の事業譲受を決議し、2022年12月30日に実行いたしました。

1. 事業譲受の概要

(1) 相手先企業の名称及び譲り受けた事業の内容

事業譲渡企業の名称	㈱ドゥーファ
事業の内容	副業・転職マッチングプラットフォーム『Kasooku』の運営

(2) 事業譲受を行った主な理由

当社グループが注力するDXプラットフォーム事業のさらなる強化を目的としております。

(3) 事業譲受日

2022年12月30日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする事業譲受

(5) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社であるカソーク㈱が、現金を対価として事業の譲受を行ったためであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる取得した事業の業績の期間

取得した事業の業績は当第3四半期連結累計期間における四半期連結損益計算書に含まれておりません。

3. 譲受事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

当事者間の合意により非公開とさせていただきます。

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

該当事項はありません。

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

60,372千円

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(重要な後発事象)

自己株式の消却

当社は、2023年1月26日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却に係る事項を決議いたしました。

消却に係る事項の内容

消却対象株式の種類	当社普通株式
消却する株式の総数	550,000株（消却前の発行済株式総数に対する割合 2.6%）
消却予定日	2023年2月28日